

(更新) 2017年9月15日

2017年9月11日

各位

株式会社横浜八景島

## 国立研究開発法人 海洋研究開発機構より譲渡された深海生物の死亡について

この度、国立研究開発法人 海洋研究開発機構（以下 JAMSTEC と言います。）より深海生物計 94 匹を受け入れましたが、当該生物の飼育経験の不足、設備の不具合等の要因により、全ての生物を死亡させる事象が発生いたしました。

JAMSTEC をはじめ関係の皆さまにはご迷惑をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。

当施設といたしましては、再発防止に努め、今後も JAMSTEC との協力関係を継続し、ご指導いただきながら深海生物等の飼育技術の向上に取り組んでまいります。

詳細は下記のとおりです。

## 記

### 1. 譲渡を受け死亡した深海生物と個体数

- |                   |      |
|-------------------|------|
| (1) ヤマトコブシカジカ     | 8 匹  |
| (2) シンカイハクトウギンチャク | 80 匹 |
| (3) 深海エビ          | 6 匹  |

### 2. 経緯

本年 3 月 17 日に JAMSTEC より当該深海生物の譲渡を受け、非展示水槽にて飼育しておりました。受け入れ後、輸送及び環境の変化により一部の個体が死亡いたしましたが、その後は安定した状態で飼育ができておりました。しかしながら、5 月 10 日未明に水槽内の水温をコントロールしている冷却設備が故障し、一時的な水温上昇が原因で水槽内の状態が著しく悪化しました。発見後すぐに設備を交換しましたが、残りの個体についてもその後 3 ヶ月の間に死亡いたしました。

### 3. 原因

JAMSTEC と共同調査をおこなった結果、期間中の飼育設備の不具合に加え、運搬時及び環境変化によるストレス、当該深海生物に対する飼育経験不足、飼育設備や技術に関するノウハウの引継ぎが不足等の複合的な要因によるものであるとの判断に至りました。

### 4. 再発防止策

当施設の方針である、「常に生きものと真摯に向き合いあった飼育」を再徹底し、深海生物の飼育技術の向上と飼育設備の充実をはかる等、再発防止に努めてまいります。

以上